

『NARUTO』の、

多重影分身で修行し、 解除して経験値を 蓄積していました。 すると、10人で 日焼けをしたら、 短期間で真っ黒に 日焼けできるので しょうか？

今週の質問



イラスト：近藤ゆたか

◆向き不向きがある

れんたろうさん、質問ありがとうございます。多重影分身なんてモノスゴイ技を、日焼けなんかに使っちゃうんですか!? ナルトがこの修行をしたのは、サスケを連れ戻すためだった。サスケは段違いに強くなっていて、それ以上に強くないと連れ戻せない。そこでカカシ先生はナルトに「お前だけの最強の忍術」を作らせた。

それには膨大な時間がかかるが、多重影分身して修行すれば、1人に戻ったとき、経験値が溜まるので、時間を大幅に短縮できる。カカシ先生は「一人で二十年かかる修行でも千人なら約一週間でもいい」。ナルトは「そんな手があったのかア」と大感動するが、実際にやってみると、精神的疲労も蓄積して、1人に戻るとバツリ倒れてしまう。さて、10人に分身すれば、同じ原理で、コンガリ日焼けすることはできるのか？

多重影分身して、経験値をためる。こんなことが本当にできたらどれほど便利だろう。たとえば筆者は1浪して大学に入った。高校の課程を習得するのに4年かかったと言える。入学日と試験日を考えれば1426日。もし千人に多重影分身すれば、試験勉強は1日半で完了!

また筆者は、この『通信』を書くのに、作品鑑賞を除いて平均5時間かかる。1万8千秒だから、千人に分身すれば、18秒で完了! しかし『通信』は2400字だから、1人が書くのは2字か3字。それをつないで文章にするほうがよっぽど大変だ。おまけにパソコンも千台が必要! どうも、この多重影分身修行は、有効なジャンルと、役に立たないジャンルがあるようだ。忍術はどうだろう。ナルトが最初に取り組んだ

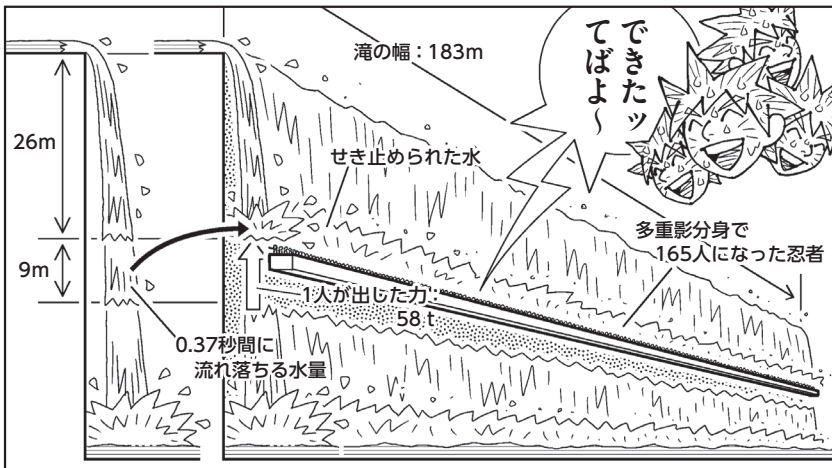
のは、木の葉を両手のひらに挟んで切ることだった。自分のチャクラを風属性に変化させる修行だ。カカシ先生は「どうすれば切れるか」は教えてくれなかった。おそらく言葉で伝えられるものではなく、試行錯誤して身につけるしかないのだろう。千人でやれば、千通りの試行錯誤ができるから、たぶん有効!

◆滝を切るとは?

次に取り組んだのは、滝に手のひらを近づけて、流れ落ちる水を切る修行。最初はチャクラを分散させないために1人でやり、水をわずかに跳ねさせる程度だったが、最終的には、確認できるだけで165人と15倍もの人数に分身し、幅が183m(ナルトの身長165cmと比較)もある大滝をズバッと切った! チャクラの量が15分の1でも切れるようになったのか、あるいはチャクラが15倍以上に

◆1万人に分身!

増えたのか。いずれにしてもすごい効果だ。しかし、滝を切るとはどういうことだろう。ナルトの身長と比較すると、ナルトたちは滝の上から26m低い位置にいて、その下には上下9mの水の切れ目が見える。ここからわかるのは、ナルトたちは時速81kmで落ちてくる水を0.37秒間せき止めたということだ。もちろんチャクラの力によるものだが、1人のチャクラが出した力は58t。すると、1人に戻れば9570tの力が出せることに。東京タワー(3500t)が2本持ち上げられる!



心配なのは、1人に戻ると蓄積した精神的疲労も1万人分! 一人の疲労が15分の昼寝で回復するとしたら、単純計算でナルトは2500時間眠り続けることになる。これ、どう考えても分身したまま眠り、回復してから1人に戻ったほうがいいのか? と一度は思ったが、そうでもなさそう。ナルトは1万人分の経験値、すなわち1万通りの試行錯誤の結果を頭の中に入れて整理しなければならぬ。人間に睡眠が必要なのは、昼間に集めた情報を整理するため。どうしても1人に戻ったあとは、睡眠が必要なのですね。さて、最後になりすぎたけど、10人で日焼けしたらどうな

精神的疲労も蓄積すること。どの修行の後でも、ナルトはバツリ倒れ、カカシ先生が支えてしばらく寝かせていた。しかも人数が半端ではない。木の葉を切る修行では千人どころではなく、ナルトが「何人くらいに分身すればいいの?」と訊くと、カカシ先生は「一人木ノ葉一枚として……これくらいかな」と言っている。樹高8mほどのカシ(葉の形と大きさから推測)の木を指さした。樹木のなかでもカシは葉の枚数が多いから、その樹高だと、1万枚を超えるのは確実。すると、ナルトに

理科雄春秋

自宅と仕事を徒歩で往復する日々が続くなか、新しい習慣ができた。▲仕事場に着くと、クイックルワイパーでフロアリング部分を隈なく掃除する。所要時間3分だが、それでも一生懸命やると汗が出る。小学校の体育で、先生が「準備運動は汗が出るほど一生懸命やりなさい」と仰っていたのを思い出す。終わった後、裸足でベタベタ歩くとモレレツにキモチイイ! このヨロコビのために、毎日やっている。▲以前からの習慣に「朝の体操」がある。目覚めると、柔軟、腹筋、ダンベル、腕立て伏せ、スクワットなど思いっきりやって鉄砲(柱への突っ張り)と四股で締める。直後のシャワーが極楽! ▲どちらも終わった後の喜びのためにやっているわけで、本末転倒な気がするけど、まあいいかな。